

OTC類似薬の公的保険外し・給付制限の 中止を求める医師・歯科医師要請署名 ～「私の一言」に寄せられた声

OTC類似薬の保険外しによる健康被害

- ◎特に点眼剤はOTCは防腐剤による障害が目立ちます。
- ◎OTC類似薬の購入により使用については患者負担が多くなるということは当然であるが、重い疾患のマスキングによる健康被害が起こる等のことがあれば、医療、医療制度、医師、歯科医師の処方への不信感が起こることもあり得る。我々医師、歯科医師は処方の意味、意義、副作用の説明をしながら、処方に対する責任を持っているが、そのことに意味があると受け取られなくなる危惧が生じると思う。
- ◎健康被害のリスクがますます高まってしまう。どうか中止して下さい。
- ◎ロキソニンテープは接触皮膚炎を起すことが多い。診察しながら使うべきである。
- ◎消炎鎮痛剤・抗潰瘍薬・軽い睡眠補助剤など、病院に行けない時に市販薬を一時的に使うことは便利ですが、それが一時的でなく長期になるとやはり重篤な疾患のマスキングが発生し得るため、公的保険外しはよろしくない。そして、我が精神科領域では、過剰服用(単に効果を求めて通常量より多く飲んでしまう場合と、心因から通常量の何倍も一度に飲む場合の二通り)や依存形成の問題があり、やはり病院で医師が責任をもって管理しながら、適正な量を処方し、患者は約束を守ってそれを服薬するという従来の方でないと患者の健康管理が難しくなると思います。
- ◎患者の負担が増えることを危惧するが、それよりも市販薬を利用することになり、正しい診断がされなかったり、診断が遅れて、重症化することをより危惧します。
- ◎先日も下肢痛に対し、市販薬湿布を更に続け、改善しないため手術した小学生が白血病でした。痛みの症状が異なるため、医師が診れば、何か変と分かります。早期発見のためにもOTC薬はない方が対応しやすい。
- ◎痒みを我慢すれば、湿疹は掻抓により広がり、感染により蜂窩織炎を誘起し、大変なことになります。
- ◎使う薬がなくなり、治療が極めて困難になります。
- ◎OTC類似薬自体、安全を考えたら反対。危険性を購入者の責任としても、その合併症、副作用が出た場合が心配である。安易な医療費減らしとしかならない。

患者負担増に繋がり容認できない

- ◎患者さんは現在でも医療費負担に苦しんでいます。OTC化は果たしてどの程度の国民の支持を得られるか疑問です。
- ◎OTC類似薬の保険外しにより保険診療点数は下がるでしょうが、患者サイドの負担は増加します。患者に負担を強いる改悪には反対です。
- ◎絶対に反対です。患者が困ります。
- ◎患者が十分な知識もないままに、高額を負担を負って、主に対症療法の薬を使用することは幸せにつながらないと思います。
- ◎これ以上国民の負担を増やさないで下さい。
- ◎物価高騰で公的保険外しには反対。
- ◎患者をさらにいじめるのはやめましょう。
- ◎OTC類似薬の保険外しは診療の幅を狭くし、自費取扱いとなれば、患者さんの自己負担も増えると思います。
- ◎アトピー性皮膚炎など痒みがあることで労働生産性が落ちることが実証されており、OTCになることで治療が不十分になることは必至です。国の医療改悪で閉院されているクリニック。美容など自費診療に変わっている医師も増え、ますます地域医療が悪化しています。

受診抑制で重症化 医療費は逆に増える

- ◎OTC薬は売られるための広告をします。人々はその広告が正しいと思い込み薬を使い続け病気の発見が遅れ、かえって、医療費がかかります。
- ◎軽症段階で受診を促されることが長期的な医療費の抑制につながります。
- ◎OTC類似薬を保険適応外にすることは、今後更に、医療費が増すことになると考えます。
- ◎自分の判断で市販薬を購入する場合、時として、あたかも治癒した様な感じを受けた場合、重大な疾患に落ちる様な時があると思われます。

- ◎医療費を減少することのみに着目した厚労省の愚策でしょう。医療の質の低下、国民の健康の悪化へ導くことになります。
- ◎患者の自己負担額が増えることに憤りを覚える。
- ◎健康保険を払っているのに、薬は高いお金を払って薬局で買うっておかしいと思います。
- ◎OTC類似薬が保険外しとなれば、他の薬剤と使用することになり、かえって、薬剤費は高くなるのではないかと思います。
- ◎早期発見の遅れが逆に医療費を増やすのではないのでしょうか。国会議員を減らす方が先だと思います。

患者は納得しない 医療機関は混乱必至

- ◎混合診療の原因のひとつになり、医療現場の混乱になりかねない。許容できかねます。
- ◎医学管理ができなくなり困る。
- ◎OTC公的保険外しの反対。田舎では、ドラッグストアはありません。院内処方の医院でもOTC販売を可としてほしい。
- ◎こんなことをしたら外来診療は混乱し、診察がなりたたなくなると思います。誰が、どうして、こんなことを患者に説明するのですか。考えられない。
- ◎金銭的な負担だけではなく、近くにドラッグストア等がない過疎地域があることを考慮していただきたい。
- ◎改善の程よろしく願いいたします。
- ◎防衛費増額より医療費抑制緩和を！
- ◎患者にとって、莫大な負担となる。OTC類似薬の公的保険外しはぜひ中止して下さい。
- ◎OTC類似薬が本当に必要な患者も多くいます。OTC類似薬の保険外しをやめることを強く要望致します。
- ◎特に漢方薬は治療に必須です。
- ◎医師が診断して病名がついているのに、処方薬に保険が適用されないのは患者の不利益が大きいと考えます。
- ◎医師、患者ともに大混乱をきたすでしょう。
- ◎臨床的に私たちの処方する薬での患者の症状回復は明かです。ある一定レベル以上の症状のある方にセルフメディケーションを強いるのは患者のQOLに関わると思います。”

医師として治療に責任が持てなくなる

- ◎OTC類似薬の公的保険外し、給付制限の中止を要求致します。
- ◎ステロイド外用薬には指導が必要。経過によりステロイドの強さを調節する必要あり。
- ◎早期発見・早期予防は疾患の重篤化を防ぐばかりではなく、医療費の削減に繋がる大きな一手です。
- ◎医師として、仕事ができなくなります。
- ◎医療者が患者をキチンと指導、服薬出来るようにして下さい。OTC類似薬の保険外しは医療の質を落としかねません。
- ◎医療費抑制より病気の発見が遅れ、医療費増大になると思います。このような方向では、国民の健康は守れないと思います。健診をもっと充実させ、早期発見にて医療費抑制を。
- ◎責任ある医療を展開することが必要です。
- ◎患者の病状は見逃さず健康寿命を伸ばす為にも、OTC類似薬の保険外しはするべきではないと考えております。オーバードーズの懸念もあります。
- ◎かかりつけ医として、患者の様々な訴えに対応している時に、この症状はOTCで保険医薬品ではないので、ドラッグストアに行って！というのは、何とも、医療のあり方として、さびしい限りです。
- ◎COVID-19や脳炎の方が(代表例です)見落とされて、流行の原因となったら、本人にとっても重症化するまで気付かないリスクがあります。
- ◎市販薬購入に伴い家計のやりくりが大変きびしくなると、本当に大切な時期での受診控えが生じ、症状改善のきっかけが失われる可能性があります。

保険給付範囲の縮小には反対

- ◎現行のまま、薬剤は保険給付とすべきです。
- ◎「OTC類似薬の保険外しに反対」、全くその通りです。
- ◎断固反対！
- ◎一つの薬剤を外すと、制限無くなりますよ。
- ◎日本の国民全てが健康保険を持ち、医療を受けれる素晴らしい制度は現在まで国民の健康な生活を守ってきました。
- ◎今までのように保険適用にして下さい。
- ◎早期に疾患を抑えることは重要である為、軟膏類は保険で使用できる様にするべきです。

- ◎整形外科は湿布がほとんどです。保険から外されると死活問題です。
- ◎OTC類似薬の保険外し、制限をしないで下さい。
- ◎世界に誇る日本の医療体制が、安易な医療費削減策で崩壊します。国民を大切にする医療制度を保持してください。
- ◎お金がある人だけが、医療を受けられる、そんな国でよいのでしょうか。ちゃんと税金、保険料を払っていてこんな仕打ち、どんな後進国かと思います。
- ◎この一歩を止めなければ、なし崩しになります。なぜ、国が医療崩壊の手助けをするのか分かりません。

政策に失望しか感じない

- ◎よりよき医療環境となりますよう願います。
- ◎薬品の製造が赤字になるほど、薬価を下げるのは何故？
- ◎悪化した状態は元に戻らないでしょう。政策に失望しか感じません。
- ◎政府による後発品中心の薬価引き下げやスイッチOTC化による医療費削減策により医薬品の供給が不安定になっています。診療報酬の削減により、病院や医院の設備投資が出来なくなっており、倒産する所も出て来ています。世界に誇れる“何処でも誰もが、均一に最高で安定した医療”を継続するためにも、診療報酬の引き上げを熱望します。
- ◎容認できません。薬剤師は診察しません。
- ◎消費税よりも家計を圧迫します。言っていることとやっていることが違います。
- ◎このままでは閉院も辞さない状況です。